

研究課題名	心アミロイドーシスに特徴的な心エコー図検査所見の検討
研究の意義・目的	<p>心アミロイドーシスは有用な治療方法が少なく、発症してしまうと予後不良と知られますが、遺伝型（家族性）トランスサイレチン型アミロイドーシスの治療で使われているタファミジスというお薬が、野生型（老人性）トランスサイレチン型アミロイドーシスによる心アミロイドーシスに対しても有用で、生活の質の向上、生命予後の改善につながる事が最近の研究で明らかになりました。その結果を受けて、2019年3月より我が国においても保険償還されることとなりました。</p> <p>そのため、治療効果が期待される野生型（老人性）トランスサイレチン型アミロイドーシスに注目が集まっていますが、心アミロイドーシスの発見の第一手となる心エコー図検査において、未だ、心アミロイドーシスに特徴的な所見、特に日本人のエコー図検査所見の特徴やアミロイドーシスの病型診断に有用な所見に関する情報は限られています。</p> <p>そこで、今回、我々は国内で心アミロイドーシスの診断で治療を受けておられる患者さんを対象に、診断のために受けた心エコー図検査所見に注目し、心アミロイドーシスに特徴的な所見とトランスサイレチン型アミロイドーシスによる心アミロイドーシスを診断するのに有用な心エコー図所見を解明するため、この研究を考えました。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025年5月17日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2000年4月1日～2020年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の循環器内科で、心アミロイドーシスの診断または治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、合併症、血液検査データ、心電図検査データ、心エコー検査画像】</p>
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関である名古屋市立大学循環器内科に、頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>この研究は日本心エコー図学会学術プロジェクトとして、多施設共同で研究を行います。</p> <p>名古屋市立大学医学部 循環器内科 大手 信之 大阪市立大学医学部 循環器内科 葭山 稔 兵庫医科大学 循環器内科 教授 石原正治 兵庫県立淡路医療センター循環器内科 副院長・部長 林孝俊 岐阜大学 循環器内科 教授 大倉宏之 徳島大学 循環器内科学 教授 佐田政隆 京都府立医科大学 循環器内科 教授 的場聖明 東海大学医学部 循環器内科 教授 伊苅祐二 愛知医科大学 循環器内科 教授 天野哲也 山口大学医学部附属病院 検査部 教授 矢野雅文 昭和大学藤が丘病院 循環器内科 教授 鈴木洋 市立八幡浜総合病院 院長 大藏隆文 熊本大学 循環器内科 教授 辻田賢一</p>

	<p>信州大学 循環器内科 教授 桑原宏一郎 産業医科大学 第2内科 教授 尾辻豊 大阪医科大学 循環器内科 教授 星賀正明 筑波大学 循環器内科 教授 家田真樹 藤田医科大学 循環器内科 教授 井澤英夫 高知大学老年病・循環器内科学 教授 北岡裕章 北里大学医学部 循環器内科 教授 阿古潤哉 愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 教授 山口修 北海道大学 循環病態内科学 教授 安齊俊久 三重大学 循環器内科 教授 土肥薫 大阪大学医学部付属病院 循環器内科 教授 坂田泰史</p>
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関：名古屋市大学 循環器内科 大手信之
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 (担当者氏名) 伊藤 朝広 電話番号：(06) 6645-3801 メールアドレス：junnai@med.osaka-cu.ac.jp</p>